



# 令和8年登米市 二十歳の集い

「令和8年登米市二十歳の集い」が1月11日、エスビー食品とよま蔵ジウムで開かれました。

式典には、二十歳を迎えた対象者663人のうち540人が出席。出席者を代表して伊藤優太さん＝登米町岡谷地＝と猪股茜さん＝迫町大網西＝が「大人としての自覚と責任を持ち、夢や目標に向かって努力していく」と誓いの言葉を述べました。

## 二十歳の主張



豊原 智美さん  
(米山町中新田)

これまで私たちは、生まれてから20年の間、家族、友人、先生方や地域の皆さまに支えられて過ごしてきました。人は母親のおなかの中にいる時が、最も快適だといわれています。空腹や暑さ、寒さを感じることもなく、守られた環境で過ごし、生まれた瞬間から、さまざまな経験を重ねていきます。その一つ一つが今の自分を形づくり、社会の中で生きていく力になります。

みなさんに「竹、節ありて強し」という言葉を紹介したいと思っています。竹が折れずになやかに立ち続けられるのは、節があるからだそうです。私たちの人生でも、困難や失敗を乗り越えるたびに、それが一つの「節」となり、やがて大きな強さにつながっていくと思います。

多くの方々に見守られ、祝福していただける今日もまた、これからの人生を支える、大きな節目となる一日です。この日のことを胸に刻み、それぞれの道を歩んでいきます。

## 二十歳の主張



佐々木 仁さん  
(東和町米谷7区)

これまで、決して自分一人の力だけではなく、大きな愛情を注いで大切に育ててくれた家族のようなときも正しい方向に導いてくださった先生方、そして温かく見守ってくださった地域の皆さま、全ての皆さまの支えがあったからこそ、今の場に立てていることを実感しています。今度は私たちが、皆さんを支える存在となり、恩返しをしていければと思います。

さて、今年の二十歳の集いのテーマは「百花繚乱、芽吹き始める彩り」です。この芽吹き始める彩りとは私達のことを指します。現在は、それぞれ違った場所、違った目標を持ち、日々励んでいる私達ですが、このように集まれば、まさに「百花繚乱」です。恩返しの方法はさまざま、今日参加しているみなさんの数だけあると考えております。

どのような形であれ、地元である登米市に恩返しができるよう、本日以降も精いっぱい夢に向かって努力していきます。